

令和6年度 雲仙市入札監視委員会 第2回定例会 議事概要

開催日時	令和6年12月6日（金）午前9時30分～午前11時30分
開催場所	市役所本庁舎別館3階 第2会議室
委員	<p>中村 聖三 委員長（長崎大学大学院 工学研究科 教授）</p> <p>川島 陽介 委員（弁護士）</p> <p>山口 純哉 委員（長崎大学 経済学部 准教授） 欠席</p> <p>重野 淳 委員（公募委員）</p> <p>山下 金光 委員（公募委員）</p>
次第	<p>▶抽出案件の審議</p> <p>① 川北団地 CD 棟外装改修工事</p> <p>② 愛野小学校職員室拡張工事</p> <p>③ 千々石中学校給水設備改修工事</p> <p>④ 市道吾妻西光寺支線舗装補修工事</p> <p>⑤ 市道愛野田端線改良工事</p> <p>⑥ 市道小浜湯ノ里2号線側溝改修工事</p> <p>⑦ 今木場川頭首工整備工事</p> <p>⑧ 林業専用道本川内線測量設計業務</p>
市出席者	<p>財務部長 三宅 隆浩</p> <p>【事務局】</p> <p>契約検査課長 山口 定征</p> <p>契約検査課課長補佐 廣瀬 祐二</p> <p>契約検査課課長補佐 井上 真</p> <p>契約検査課参事補 相川 貴志</p> <p>【工事担当課】</p> <p>建築課…金澤課長、高木課長補佐、前田参事補、津田主査、後田主事</p> <p>総務課…富永課長、木場参事補</p> <p>道路河川課…峰添課長、川島課長補佐、横田課長補佐、宮崎参事補、馬場主事、 笹田主事補</p> <p>農漁村整備課…松竹課長、平田参事補</p> <p>農林課…岩本課長、岩下課長補佐</p>

指名停止措置案件の報告	
質 問 ・ 意 見	回 答
	今回の審議対象期間において、指名停止措置の報告案件なし。
審議 1 川北団地CD棟外装改修工事	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>落札者以外の業者が失格となり、その金額が最低制限価格を大きく下回っている。</p> <p>これだけの業者がこの価格で施工できるということであったとすると、市の設計書の妥当性を確認したい。</p> <p>使用する足場は仕様書に記載しているのか。</p> <p>仕様書等で足場を指定するのであれば、業者がその内容をきちんと理解し適切な単価で積算して入札するための周知が必要である。</p>	<p>市の設計書については、適切に積算していることを確認している。</p> <p>業者の内訳書を確認したところ、入札額にばらつきが出た原因として、失格した2者がくさび緊結式足場抜止機能付型の単価を市の単価よりも安い従来型で積算していたことと、シーリング単価の算出能力に差があり、刊行物に掲載されている単価を用いて計算する際の換算に誤りが見受けられた。</p> <p>仕様書に足場の種類、参考図書に緊結部の抜止機能の有無を記載している。</p> <p>労働安全衛生法では、平成27年に足場に関する規制の改正がされており、そのために適合した推奨された足場であることと、北風の影響を受ける現場条件であることから、安全性を高めるために使用している。</p> <p>そのように対応したい。</p>
審議 2 愛野小学校職員室拡張工事	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>この工事は、二次製品の占める割合が予定価格の設定に影響を与える可能性がある。この点に対する配慮が不足していたため、失格者が出ているのではないかと確認したい。</p> <p>すべての業者がその価格を理解した上で、同じ条件で入札を行っているということか。</p>	<p>可動間仕切壁などの物を購入して取り付けするような工事内容が多く、特殊な物品等については単価を公表しており、その金額は設計金額の直接工事費の約7割を占めている状況である。</p> <p>そのとおりである。</p>

<p>失格者が出た原因を把握しているか。</p>	<p>業者の内訳書を確認したところ、令和6年度から諸経費が改訂されているが、失格者のうち2者は改定前の諸経費の率を適用していた。</p> <p>また、超過した1者は鉄筋の加工組立ての単価の換算違いで、超過となっている。</p>
--------------------------	---

審議3 千々石中学校給水設備改修工事

<p style="text-align: center;">質 問 ・ 意 見</p>	<p style="text-align: center;">回 答</p>
<p>落札者以外の業者が最低制限価格未満で失格となり、最も高い業者が落札となっている。当然、予定価格の範囲内で落札となつてはいるが、他の入札者との入札金額の差が大きい。</p> <p>このような結果となった原因を把握できているのか。</p> <p>こうした結果が起こることは少ないかもしれないが、ランダム係数によって多くの業者が失格となり、少し高めに入札した業者が落札するケースは他にも出ている。これにより、真剣に競争している業者が不利にならないような運用が図れるよう、他自治体の取り組みにも注視して欲しい。</p>	<p>業者の内訳書と比較したところ、精度の高い積算が行われていると考えられる。</p> <p>失格となった3者は、最低制限価格を狙って応札し、ランダム係数が高めに出たことにより失格となったと考えられる。</p> <p>一方、落札した業者の内訳書を確認したところ、鉄筋の運搬費の単価の換算の相違があったが、予定価格内であり落札者となった。</p> <p>今年度から最低制限価格の算出方法を見直し、併せてランダム係数の変動幅を縮小する取り組みを行っている。まだその効果は見えていないが、委員が指摘された他自治体の事例も参考にしながら、より良い方法を見つけていきたい。</p>

審議4 市道吾妻西光寺支線舗装補修工事

<p style="text-align: center;">質 問 ・ 意 見</p>	<p style="text-align: center;">回 答</p>
<p>落札者以外の全ての業者が最低制限価格未満で失格となっている。</p> <p>失格となった業者は、最低制限価格変動範囲の最低値以上を入札しているようであるが、このような結果となった原因は把握しているのか。</p> <p>入札金額は僅差であるが、これはこの工事の積算が容易であったからか。また、多数入札に参加していることから、競争が激しかったと思うが、業者の受注意欲が高かった結果なのか。</p>	<p>この案件では、ランダム係数が高い数値を示したため、その結果として今回の入札結果が生じた。</p> <p>本舗装補修工事は既設表層を剥ぎ取った後に舗設する単純な工種となっていることから、各入札者において精度の高い積算が可能であったと思われる。このことから入札者の受注意欲の表れとして、最低制限価格帯に集中したと思われる。</p>

審議 5 市道愛野田端線改良工事	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>入札率が 100%に近い 2 者があり、失格者も多く、入札額に大きな開きがある。</p> <p>高額の 2 者がなぜそのような金額を提示したのか、どのような理由でこのような結果になったのか把握できているか。</p> <p>これは制限付一般競争入札であるため、落札する意思がなければ入札する必要はないのではないかと思う。あわよくばという考えで高い入札率で入札したのかどうか、その点についてどう考えているか。</p>	<p>業者の内訳書を確認したが、各業者が精度の高い積算をされており、最低制限価格を狙った入札結果となっている。</p> <p>一方、高額の 2 者は、入札率を高く設定した結果と考えられる。</p> <p>予定価格の範囲内に入っているため、業者が提示した金額には妥当性があると思われる。</p> <p>また、失格者が多い件については、今年度からランダム係数の幅を狭め、変動幅を半分にした影響が見られ、特に今年度前半は業者が意識的に低い価格で入札する傾向が見受けられた。そのため、失格者が多くなったと考えられる。</p>
審議 6 市道小浜湯ノ里 2 号線側溝改修工事	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>ランダム係数の影響で 2 者が失格となり、落札率が高くなっているのではないか。</p> <p>特に指名競争入札では、指名された業者が入札しなければならないという意識が働き、受注意欲がそれほど高くない業者が偶然落札する可能性が高いと感じるが、本入札の結果はどういうものだったのか。</p> <p>もし適正な積算を行っていない業者が落札した場合、施工中に問題が発生する可能性があると思う。</p> <p>超過となる入札を行うことで、意図的に落札を避けている業者がいることは安心であるものの、辞退の選択肢があることを業者にしっかりと説明することが重要である。</p> <p>現在、辞退に対してペナルティーが課されていない状況を踏まえ、業者に対してその点を明確に伝えることが大切であると思う。</p>	<p>市の設計書については、適切に積算していることを確認している。今回の工事は比較的容易なもので、C ランクの業者が対象となるが、業者の内訳書を確認したところ、積算能力の差が入札金額に表れているように見受けられた。</p> <p>また、超過した業者に聞取りを行ったところ、工事現場までの移動距離や施工条件を考慮して高めの入札を行ったとのことである。ご指摘のとおり、指名を受けたため入札したということもあるように思う。</p> <p>対応を検討する。</p>

<p>辞退理由の内訳として、手持ちの仕事が多くて新たな受注が困難であることや、技術者の確保が難しいという理由が挙げられているが、8月の入札でもそのような理由が見られることから、工事の受注が多い状況であるのか。</p>	<p>市が発注する工事に加え、国や県の工事が雲仙市内でも行われており、その下請けに入れている業者もいる。また、建設業界全体で技術者が不足している状況が続いており、この人手不足が業者の辞退理由や入札状況に影響を与えていると考えている。</p>
--	--

審議 7 今木場川頭首工整備工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>入札が1者のみとなっており、競争性が低下している。</p> <p>こうなった原因を把握できているのか。</p> <p>特に、入札公告条件を満たす多数の業者があったにもかかわらず、実際には1者しか入札しなかったことに対して、その理由が明らかでない場合、適正な入札が執行できない恐れがある。</p> <p>この工事はかなり特殊な工事だという理解でよいのか。</p> <p>入札に関して資料を取り寄せた業者がいたということであったが、それは何件あったのか。</p>	<p>今回の工事の主な内容は、転倒堰の扉体本体の補強のためのプレート取り付け、塗装、操作装置における油圧シリンダー、高圧ホース、エンジン油圧配管の取り替えである。</p> <p>昨年度も同様の工事を発注したが、その際に他発注機関等に確認したところ、九州管内には水門や転倒堰の整備補修ができる業者が数者存在すると伺っていた。</p> <p>本案件は制限付一般競争入札で発注しているが、入札が1者となった原因については、入札公告後に数者が資料を取り寄せたものの、工事の内容、場所、金額などを確認した結果、応札には至らなかったと考えられる。</p> <p>この工事は特殊ではあるが、既存の転倒堰の補修であり、工事自体は施工可能であると考ええる。</p> <p>落札者を含む4者から参加の届出があった。その後、設計図書や参考図書を確認され、条件を考慮して判断されたと思う。</p> <p>昨年度の同様の工事では、雲仙市内の業者を含む2者が応札された経緯があった。</p>

審議 8 林業専用道本川内線測量設計業務

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>指名競争入札であるが、落札者以外の業者がすべて予定価格を超過するか辞退している。</p> <p>予定価格の妥当性や積算の難易度を確認したいが、現場の条件が悪くて市の設計では履行できないという意思表示なのか、こうした入札</p>	<p>入札参加業者に積算内訳書の提供を求め確認したところ、落札者を含む5者は、諸経費区分において市と相違があり、市の積算金額より高く積算されていた。さらに、このうち落札者を除く4者は入札率を高く設定していたため、</p>

<p>結果になった原因を把握しているのか。</p> <p>かなりの業者が指名されたにもかかわらず、受注の意欲がない業者が多いと感じる。</p> <p>また、適切に積算ができている業者についても、競争して低価格で落札しようという意欲がなかったように思える。</p> <p>測量業務の入札金額が全体的に高いと感じているが、他と比較してそのような傾向はないか。</p>	<p>入札額が高額になっており、この他の1者は市の設計とほぼ同額であったが、100%を超える金額で入札しており、落札する意思がなかったと考えられる。</p> <p>また、積算内訳書を提供できなかった2者については、手持ちの業務が多かったという理由で予定価格を上回ったと回答があった。</p> <p>測量業務は主に外業が中心となるため、そういった特性が影響している部分もあると思う。</p> <p>また、下請けを使う場合もあり、現場での作業が多いことが、他の設計業務とは異なる要因になっていると感じている。</p>
<p>審議案件に関する委員会の所見</p>	
<p>いくつかの議論があったが、審議の結果、入札及び契約の過程並びに契約の内容等の透明性や競争性の確保について、大きな問題は認められない。</p>	